



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月13日

上場会社名 株式会社 京都ホテル 上場取引所 東
 コード番号 9723 URL <http://www.kyotohotel.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)平岩 孝一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)柳瀬 光義 (TEL)075(211)5111
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	7,361	1.1	7	—	△292	—	△191	—
24年12月期第3四半期	7,281	—	△75	—	△350	—	△151	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	△18.59	—
24年12月期第3四半期	△14.69	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	19,056	1,711	9.0
24年12月期	19,399	1,911	9.9

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 1,711百万円 24年12月期 1,911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	—	—	3.00	3.00
25年12月期	—	—	—		
25年12月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,560	2.1	469	10.4	108	84.5	79	279.8	7.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年12月期3Q	10,389,000株	24年12月期	10,338,000株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

25年12月期3Q	59,238株	24年12月期	57,864株
-----------	---------	---------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年12月期3Q	10,304,695株	24年12月期3Q	10,280,255株
-----------	-------------	-----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを完了していますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、公共投資、住宅投資の増加、企業収益の持ち直しから緩やかな回復傾向を続けて参りました。

京都のホテル業界におきましては、個人旅行者の入込み増が目立ち、外国人宿泊客も為替円安を背景として大幅に増加するなど、全体的には堅調に推移しました。

このような環境のなか当社では、近年の相次ぐ高級ホテルの新規参入に対処し、さらなる競争力を図るため、京都ホテルオークラ高層階「エグゼクティブフロア」の大幅な改修を実施いたしました。また創業125周年にちなんだ各種イベントの開催に加え、京都の歴史と文化が根付く岡崎地区にガーデンレストラン「ザ・ガーデン岡崎」を7月にオープンし、売上増に努力してまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は7,361,085千円(前年同期比1.1%増)、営業利益は7,856千円(前年同期は営業損失75,094千円)となりました。

部門別の営業概況は次のとおりです。

宿泊部門

京都ホテルオークラは、欧米やアジアからの外国人客(団体・個人)に加え、国内エージェント経由の個人客の利用が多く、売上高は前年同期比7,015千円増となりました。

からすま京都ホテルでは、国内エージェント経由の団体、個人とも伸び悩みましたが、法人の直接予約が好調であったことに加え、欧州をはじめ前年に新設した「上海駐在事務所」の拡販努力が実り中国からの個人旅行者が前年を上回るなど、外国人客が堅調に推移したことで、売上高は前年同期比12,021千円増となりました。

この結果、宿泊部門全体の売上高は2,082,508千円(前年同期比0.9%増)となりました。

宴会部門

京都ホテルオークラの婚礼宴会は、趣向を凝らしたプラン提供をしましたが、近隣にオープンした婚礼施設との競争もあり、件数は前年を下回りました。また、一般宴会におきましては、件数は増加しましたが、大型宴会の受注が伸び悩んだこともあり、売上高は前年同期比82,476千円減となりました。

からすま京都ホテルでは、一般宴会において件数、料理単価が前年を上回ったことに加え、朝食売上が順調に推移したことで、売上高は前年同期比5,603千円増となりました。

この結果、宴会部門全体の売上高は2,354,573千円(前年同期比3.2%減)となりました。

レストラン部門

京都ホテルオークラでは、中国料理「桃李」、テラスレストラン「ベルカント」が伸び悩みました。その一方、比較的の高単価な鉄板焼「ときわ」やカフェ「レックコート」、京料理「入舟」が好調に推移したため、売上高は前年同期比56,127千円増となりました。

からすま京都ホテルでは、お食事処「入舟」、テイクアウトショップ「レックコート」が堅調に推移した一方、中国料理「桃李」が伸び悩んだことから、売上高は前年同期比4,301千円減となりました。

この結果、レストラン部門全体の売上高は1,981,054千円(前年同期比2.7%増)となりました。

その他部門

その他部門の売上高は7月に京都市岡崎に新規オープンした直営レストラン「ザ・ガーデン岡崎」が好調なスタートを切ったことを主因とし、942,948千円(前年同期比10.0%増)となりました。

なお、京都ホテルオークラ別邸「栗田山荘」のランチ及び通販部門の「アップルパイ」やレトルト食品「特製総料理長カレー」の売上も順調に推移しました。

部門別の売上高及び構成比等は、以下のとおりです。

区分	当第3四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)		前年同期比 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	
宿泊部門	2,082,508	28.3	0.9
宴会部門	2,354,573	32.0	△3.2
レストラン部門	1,981,054	26.9	2.7
その他部門	942,948	12.8	10.0
合計	7,361,085	100.0	1.1

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ343,634千円減少し、19,056,010千円となりました。

負債につきましても、前事業年度末に比べ143,497千円減少し、17,344,957千円となりました。

また、純資産は前事業年度末に比べ200,137千円減少し、1,711,053千円となり、自己資本比率は9.0%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の通期業績予想につきましては、前回(平成25年8月13日)に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

なお、今後の経済状況や旅行客等の動向情報を収集した上で、通期の業績見込みについて見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	600,776	302,149
売掛金	576,582	378,076
原材料及び貯蔵品	108,730	75,221
前払費用	74,807	97,386
繰延税金資産	37,511	112,085
その他	18,828	32,779
貸倒引当金	△326	△91
流動資産合計	1,416,911	997,606
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	12,066,981	12,053,387
構築物（純額）	95,526	123,664
機械装置及び運搬具（純額）	48,004	55,698
器具及び備品（純額）	239,778	337,902
土地	5,071,341	5,071,341
リース資産（純額）	69,903	48,081
建設仮勘定	4,410	4,410
有形固定資産合計	17,595,945	17,694,485
無形固定資産		
ソフトウェア	46,059	49,776
リース資産	38,167	20,195
電話加入権	4,429	4,429
ソフトウェア仮勘定	5,491	3,360
無形固定資産合計	94,147	77,761
投資その他の資産		
投資有価証券	82,477	79,870
関係会社株式	24,592	—
長期前払費用	95,317	69,619
差入保証金	44,412	59,051
繰延税金資産	34,250	65,524
その他	11,590	12,090
投資その他の資産合計	292,641	286,156
固定資産合計	17,982,734	18,058,404
資産合計	19,399,645	19,056,010

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	278,611	170,452
短期借入金	1,817,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	820,000	966,920
リース債務	64,734	31,861
未払金	625,963	499,158
未払費用	203,164	91,533
未払法人税等	10,527	8,214
前受金	59,288	76,721
預り金	157,462	55,568
前受収益	46,474	58,438
賞与引当金	—	76,107
その他	44,893	45,240
流動負債合計	4,128,119	2,580,217
固定負債		
長期借入金	12,285,000	13,691,867
リース債務	52,379	42,342
長期未払金	62,922	82,312
退職給付引当金	52,422	35,369
役員退職慰労引当金	45,547	55,284
長期預り保証金	862,064	857,564
固定負債合計	13,360,335	14,764,739
負債合計	17,488,454	17,344,957
純資産の部		
株主資本		
資本金	950,000	969,000
資本剰余金		
資本準備金	209,363	210,304
資本剰余金合計	209,363	210,304
利益剰余金		
利益準備金	15,427	18,511
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	749,596	524,095
利益剰余金合計	765,023	542,606
自己株式	△24,670	△25,212
株主資本合計	1,899,716	1,696,698
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,474	14,355
評価・換算差額等合計	11,474	14,355
純資産合計	1,911,190	1,711,053
負債純資産合計	19,399,645	19,056,010

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高		
室料売上	1,991,591	2,010,184
料理売上	3,125,049	3,187,658
飲料売上	566,297	573,116
雑貨売上	391,626	393,858
その他売上	1,206,691	1,196,267
売上高合計	7,281,256	7,361,085
売上原価		
料理原料	924,516	943,559
飲料原料	124,340	126,476
雑貨原価	303,638	311,822
その他原価	238,057	210,139
原価合計	1,590,552	1,591,997
売上総利益	5,690,704	5,769,087
販売費及び一般管理費	5,765,798	5,761,230
営業利益又は営業損失(△)	△75,094	7,856
営業外収益		
受取利息	47	31
受取配当金	1,627	1,042
受取手数料	4,035	3,361
その他	5,135	7,820
営業外収益合計	10,846	12,257
営業外費用		
支払利息	254,737	249,880
支払手数料	—	61,800
雑損失	31,675	948
営業外費用合計	286,412	312,629
経常損失(△)	△350,660	△292,515
特別利益		
受取補償金	122,345	—
投資有価証券売却益	4,559	18,169
その他	247	—
特別利益合計	127,153	18,169
特別損失		
固定資産除却損	39,913	21,657
貸倒引当金繰入額	1,200	—
特別損失合計	41,113	21,657
税引前四半期純損失(△)	△264,621	△296,003
法人税、住民税及び事業税	7,231	3,529
法人税等調整額	△120,851	△107,956
法人税等合計	△113,620	△104,427
四半期純損失(△)	△151,000	△191,576

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、内外顧客の宿泊・料理飲食・宴会等を中心とするホテル経営及びホテル付随業務を事業内容としております。経営資源の配分の決定及び業績評価は当社全体で行っていること等から判断して、報告セグメントが単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。